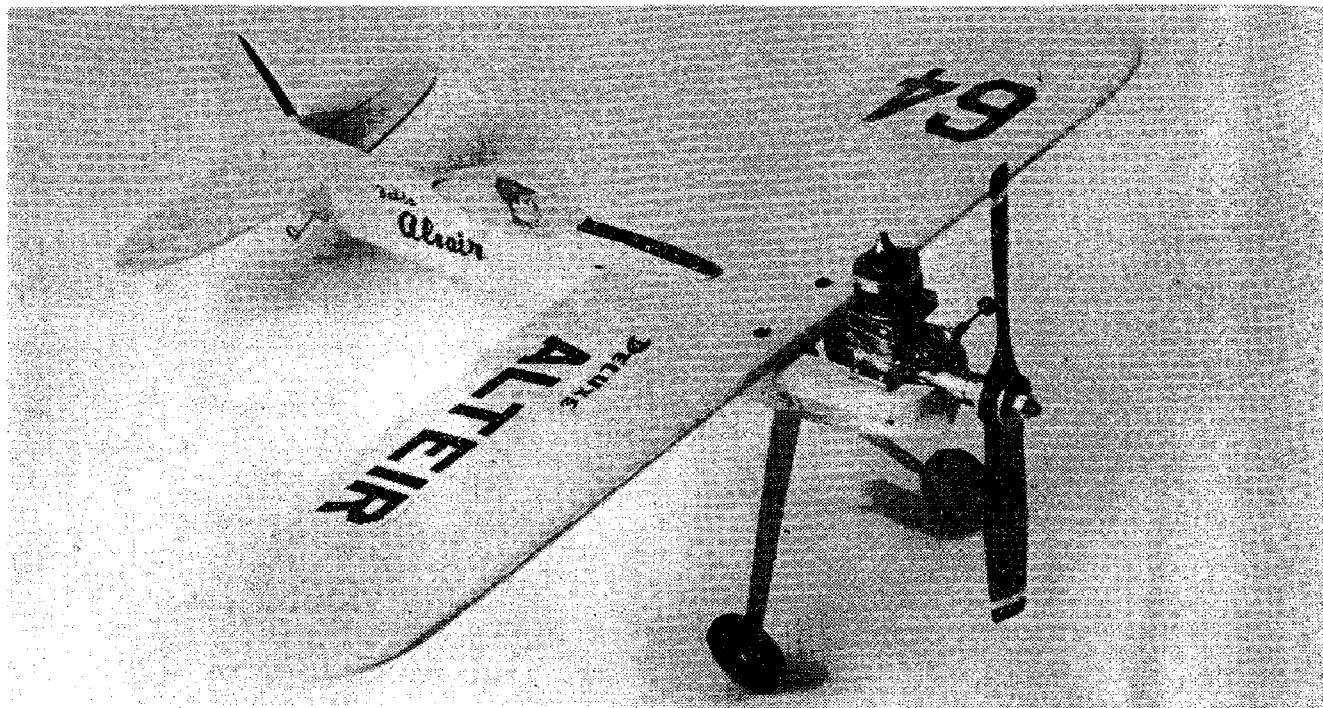


±09クラス・トレーナー

アルテア号



本機は日本でUコン機が飛ばされはじめたころ（約20年前）に、スクラッパー号とともに発売され、それ以来現在にいたるまで多くのマニヤに愛用されてきました。

本機の原型機は、アメリカ・タイプのオール・バルサ構造をとりましたが、当時の日本にはバルサ材がじゅうぶんありませんでしたので、昔からわが国での最優秀材である桐材を用いてキット化したのです。これは現在でも胴体その他に受けつがれています。

下記の諸元表を見ればおわかりのように、本機は小型軽量ですので、機体の性質としては基本練習機としてよりも、手軽に飛ばして楽しむスポーツ機として設計されていますので、軽快な飛行を楽しむことができます。

また、本機はプロフィル型式で、側面型はレーサー・タイプのスマートな機体です。

本機の構造は、主翼の前縁と後縁に太い材料を

使ってありますので、少しくらいの衝撃でもビクともしません。胴体は前にも述べたように厚い桐材ですので、軽く、しかもじょうぶです。また、主翼の取り付けは、エンジン・マウント材の後部に木ネジでしっかりと取り付けられますので、正確に組み立てることができます。

キットの内容は、良質の桐材を使用した各部品は、すべて加工してありますので、ナイフやサンド・ペーパーで部品の角などを整形するだけで、組み立てることができます。脚は鉄板製ですので、左右の脚をビスで胴体に取り付けるだけで完成します。また、製作方法と飛ばしかたをステップ別に図解したわかりやすい原寸の設計図が入っています。

本機には09クラスのエンジンを装備するように指定されていますが、少しオーバー・パワーですので、少しくらいの風にも負けずにダイナミックな飛行が楽しめます。

本機の主要諸元

(千代田模型)

全長	440mm	翼面荷重	60g/dm ²
全幅	500mm	重心位置	10%
主翼面積	5 dm ²	エンジン	09クラス
尾翼面積	1.2 dm ²	重量	300g

